

山形県男女共同参画センター

# CHERIA チェリア

vol. 40  
2014. Autumn

## CONTENTS

- ▶ 高木館長のナットク対談  
我が家のワーク・ライフ・バランス
- ▶ 平成26年度男女共同参画週間事業  
『家事場のパパヂカラ』応援フォーラム
- ▶ 「チェリア塾基本コースinチェリア」を開催しました。
- ▶ チェリアdeカフェ
- ▶ 輝く女性応援会議in山形
- ▶ チェリアの仲間になりませんか？  
CHERIA 登録団体紹介！
- ▶ チェリアフェスティバル山形2014

# 我が家のワーク・ライフ・バランス

今回は、イクメンとして積極的に子育てと仕事を両立させている、小野氏と吉田氏をお迎えして、ワーク・ライフ・バランスについての取り組みや考え方をうかがいました。

【高木】 本日はお忙しい中、チェリアにお越しいただきありがとうございます。

さっそくですが、男女共同参画を進めていく上で、男女ともにワーク・ライフ・バランスが重要といわれています。しかし、男性の家事・育児への参加がなかなか進まないのが現状です。小野さんと吉田さんは両立されておられるとのことですので、今日はその辺のお話をお聞かせいただき、県民の皆さんに参考にしていただきたいと思います。小野卓也氏、妻が茨城で単身赴任中のため、家事と3人の子育てを積極的に行っているイクメンです。



小野卓也氏 長井市洞松寺住職

家族構成：  
妻（茨城に単身赴任中）  
小学6年生女子、小学3年生男子  
年長児女子、母親  
小野卓也氏は、妻が茨城で単身赴任中のため、家事と3人の子育てを積極的に行っているイクメンです。

積極的に子育てに関わろうと思ったきっかけ

【高木】 子育てに積極的に関わるようになった理由はなんですか？

【小野】 結婚当初は茨城に住んでいました。私の仕事は長井市の実家のお寺なので、法事するときや何かあった時だけ帰るといって生活していたから、私が主夫をやるのは自然な流れでした。それに、私と妻は同じ年なので、妻への対抗意識もあったと思います。「自分にもできる。よしーやってやるぞー」というチャレンジ意識がありました。

【吉田】 対抗意識は、自分にも当てはまるころはありますね。妻ができるならば、自分も同じことをしたい。俺だってできないことはない。弱音を吐きたくない。頼むとは言いたくなかったし、男もできることを見せたかった。

【高木】 吉田さんは二人目の子どもさんが生まれた時に育児休業を取得されたということですが、それはどうしてですか？

【吉田】 二人目の頃から、周りで男性の育児休業の話が出るようになってきて、「じゃあ育児休業を取ってみてもいいかな。」と思えてきました。妻にも「やってみたら？」と言われ、「じゃあ、やってやるかー」と思いました。これも対抗意識かな。(笑)

は真似できないという捉え方をされると残念だと思います。職場環境によっては、厳しいでしょうかね。人ひとり抜けるわけですから。

【高木】 外国で進んでいるところは、男性の育児をきちんと位置づけている国もありませんので、考え方を変えていくことで、少しずつシステムも変えていけるのではないかと思います。

【小野】 当事者よりも上司の方に伝えたいのですが、育児をすることであるんなことを学びます。会社にとって、より役に立つ人間になると思いますよ。社員研修と育児休業をやらせていただきたいと思います。育児中は、夜泣きすれば起きなければならぬ。つまり夜勤もあるし24時間勤務を乗り越えているわけで、とても大変なことをこなしてきて、一回り大きくなって帰ってくるのです。成長したところを見ていただきたいと思います。

私は、子育ては修行だと言っています。修行とは一回り大きくなるということ。



吉田正信氏 県職員

家族構成：妻と子ども6人の8人家族  
小学5年生女子、小学3年生女子  
小学1年生女子、年少児（双子）女子  
2歳児女子  
吉田正信氏は県職員として多忙な業務に携わる一方で、6女のパパとして育児休業を取得するなど、子育てに積極的に関わっています。

辛いことを辛いと思わなくなっていくこともあります。

【吉田】 育児休業を取って職場を離れて家にいるときに、「お休み中」と言われていましたね。「いやいや、別に休んでいないし。」と、言いたかった。減入ってくる時もあります。

【小野】 育児休業の「休」の字がよくないですね。いかにも休んでいるイメージです。これから「育児研修」にしてほしいですね。

【吉田】 「研修」という言葉いいですね。

料理や家事は慣れる時間が必要

【高木】 これからの若い人に、何かメッセージはありますか？

【吉田】 それぞれの家庭が理想とする家族のあり方とか、生活環境に近づける一つの手段として、男性が育児休業を取るといって選択肢があります。家族のあり方を考えるときに、男性が育児休業を取るといって選択肢が当たり前のように入っていてほしいと思いますね。

【高木】 とかく、女性だけが家事と育児を引き受けて、そのうえ仕事もしていれば、女性がかかり大変な思いをしていくことになりそうです。どうしても不満が出てきてうまくいかないということも起こりうるから、常にお互いによい形の家庭運営を話し合っていくことが大切ですね。

今回、感心したのは、お二人が私たち夫婦はこういう形でやって行こうと話したときに、実際にやる能力があるということがすごいと思いました。

【小野】 料理も家事も失敗をして、だんだん上手に、短時間でできるようになってきました。そのためには期間が必要で

【高木】 育児休業を取得する人はまだまだ少数派ですね。プレッシャーはありますか？

【吉田】 ありました。上司に育児休業の話をするのは、やはり、恥ずかしかったですね。でも、いざ相談したら良いことだよ！仕事のことは気にせず育児頑張ってるね。とすぐに笑顔で答えてくれたのでうれしかったです。最初の表情やリアクションに心の内が表れると思うので、職場を離れることに申し訳ないと思う気持ちがいざいぶん軽くなり、応援してもらっていると感じました。

子育てに関わって良かったこと

【高木】 子どもさんとの関係はどうですか？

【吉田】 子どもとの関係性が強くなりました。育児休業が、影響していると感じますね。

【小野】 娘と良好な関係でいられることは、育児を通して一緒にいる時間が長かったことが関係していると感じています。それから、子どもは思い通りにならないし、せいかしても遅くなる。同じことを何回も言う。怒らないで何回も教える。そういうことを繰り返して、待つことを覚えましたね。それは世の中が自分の思い通りになるものではないし、待つことの大切さを学ぶきっかけにもなりました。つまり、人と接するうえで大切さを、育児を通して子どもから学んだのです。



ね。その期間に、もし誰かが手出しやダメ出しをしてしまったらすると、芽が摘まれてしまいます。せっかくなので、ここまでやってきたのに「じゃあ、やらなさい！」となってしまうので、大目に見ながら適度に褒めてやってくれる。そういう能力も必要。能力とは最初から備わっているものではなくて、高めていくものだと思います。やる気だと思えますね。また、「文句を言わない」という空気があると安心して始められると思います。

【吉田】 私も結局、妻の手の上で転がされている感じですね。できなくても、やさしく見守りつつ、怒りもせず、うまく育て上げられたなという感じがしますね。慣れない家事や育児は、絶対もどかしかったと思います。

【高木】 それを文句も言わず見ていてくれたのですね。共働きで、一緒に子育てする上で、それはとても重要なことですね。

【小野】 そろそろ、一番重要なんじゃないかなと思います。大目に見てくれる力です。

おわりに

【高木】 お二人のお話を伺って思ったことは、小野さんの場合はお寺の仕事はいろいろあると思うのですが、お相手が専門性の高い仕事をもっておられることを尊重して、ご自分がお寺の仕事を全部カバーして



高木直氏  
山形県男女共同参画センター館長  
山形大学名誉教授

【高木】 自分の思い通りの子育てをしたいとか、こうなって欲しいとか、とかく親の思いを押しつけていきがちですが。

【小野】 結果ではなく、その過程の大切さに目を向けられたことは、男性としてはなかなかない経験だと思います。

【高木】 仕事とは違う面での楽しみや、癒しもありますよ。

【吉田】 子どもがいっぱいいることが楽しいですね。たとえば、家族で力ゴメカゴメができるんです。(笑)

職場や身近な人の反応

【高木】 職場や身近な人の反応はどうでしたか？

【吉田】 自分たちの家庭の大変さは周りが知っているのに、応援していただけています。

【小野】 私の祖母は若いときに嫁務めで苦労したせいか、妻に対してはあまりよく思っていないところがありました。妻から家事を全部押し付けられて、私のことをかわいそうと思っていたようです。

【高木】 皆さん、気持ちの中ではお二人のように育児や家事に関わるのはいいなと思っけていても、なかなか言えないこともあるでしょうね。

【小野】 こういう話を外でも、うちで

子育ても一生懸命やっている。仕事をもつ妻をとて尊重されていますね。それをすごく感じました。

吉田さんも同じで、お子さんが多いと働いていられないと考える人が一般的かと思えます。そこを、同じ公務員としての仕事をしながら、二人で子育ても家事も一緒にするのは、すごいなと思いました。相手の人生をきちんと認めて、とても尊重していらっやいますね。普通でしたら「仕事を辞めて、子育てに専念したらどうだ。」と言いかねないところを、家事も育児も二人で一生懸命やっていく。その姿勢は大変すばらしいと思いました。

これから共働きや子育てをする若い方々には、お二人の考え方や生き方を参考にしたいので、自分達らしい家庭を築いていってくださると嬉しいなとつくづく思いました。本日はありがとうございました。



# 『家事場のパパヂカラ』 応援フォーラム

～さまざまなライフステージにおけるパパヂカラを考える～

6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。今年のキャッチフレーズは、男性も長時間労働を減らし女性と共に家事や育児に関わりましょうという主旨で『家事場のパパヂカラ』となりました。「チェリア」ではこの週間に合わせて普及啓発パネルを展示したほか、最終日の6月29日(日)には『パパヂカラ』の果たす役割を考えるためのフォーラムを開催しました。

フォーラムは、パネルディスカッション形式でコーエンズ久美子さん(山形大学人文学部教授)をコーディネーターに進められ、パネラーの佐藤千秋さん(県立山形盲学校教諭)からは、育児休業を取得するなど子育てに積極的に参加している男性のパパヂカラを、長岡慈子さん(たんぼぼ保育園園長)からは、管理職として職場の第一線で働く女性を支える夫のパパヂカラを、山川隆さん(山形地方農民連事務局)からは、共働きの妻をサポートしてきたパパヂカラがこれからの生き方でどう生きてくるのかを、それぞれの生活体験の発表の中から検証しました。

フロアには、長岡さん・山川さんのパートナーも見えられ、お二人からもお話を聞くなどしてより深いディスカッションとなりました。

佐藤千秋さんは、長男が生まれて妻が2年半の育児休業を取得し、その後を引き継いで半年間育児休業を取得した。出産当時は育児休業を取得するつもりはなかったが、母親がずっと子どもに付き添っている姿を見て、「自分が生涯に渡って子どもと過ごせる時間はどれくらいあるだろう?」と思うようになり、今なら育児休業制度もあり子どもと向き合うことができると考えた。子どもにはいち早く自立してもらいたいという希望もあり、自分の子育てで後悔しないよう、関わるときに関わって子どもを育てなければという思いが強かった。育休が始まって3週間くらいは大変だったが、経験を積む中で親子がお互いを理解できるようになったことで、仕事に復帰してからの子育ては楽になったし、子どもにしてあげる引き出しも多くなった。



長岡慈さんは、今の夫は洗濯、食器洗い、料理など何でもやってくれるし、仕事にも理解がありアドバイスなどもくれる。しかし、始めから理解があったわけではなく、仕事は何とか辞めずに済んだが、家事・育児は全て女性がやって当然という考え方であった。その後、保育園の親子行事での出来事がきっかけで、お互いに仕事に対する考え方が少しずつ変わっていったし、子どもとの関係の薄かった夫が、「乳幼児期に関わらなかつたら一生後悔するよ」との私の一喝でその意識が変わっていった。夫婦はお互いに仕事をしていることを理解し合い、二人で家事や子育てをすることが大事だ。夫婦になって21年、様々な環境の変化に合わせて夫婦で成長してきた。夫婦の関係は、始めからできているものではなく、二人の努力で創っていくものだと思う。



山川隆さんは、結婚後は妻の両親と一緒に暮らしたが封建的な家庭で、私が洗濯物を干していると義父は「男のすることではない」と義母に言っていたようだ。長女が小学校に入ってPTAの役員をした折、それまで名前は父親、実際の活動は母親、懇親会は父親という暗黙のルールがあったが、子育ては両親が協力してするものと考えていたので名簿には実際に活動に参加する妻の名前を載せ、その後はそれが当たり前になった。妻は山形市内初の女性PTA会長にもなった。妻をサポートするという感覚は特には持っていなかったが、一般的な夫婦に比べて妻を手助けすることは多かったかもしれない。夫婦は、育ってきた環境が違うので習慣・考え方の違いがあって当然ということを前提に、お互いを一人の人間として尊重し合えることが重要だと思う。



# 「チェリア塾基本コースinチェリア」を開催しました。

地域で活動している女性、またはこれから活動したい女性を対象に、女性リーダー育成事業として、6月7日から4回にわたり、山形県男女共同参画センターを会場に開催しました。

男女共同参画の基礎知識やジェンダー問題、コミュニケーション技術など、幅広く充実した内容の講座でした。

## ■第1回目（6月7日）「男女共同参画社会の概要」「山形県における男女共同参画社会づくりの現状と取り組み」

山形県男女共同参画センター館長 高木 直氏  
山形県子育て推進部若者支援・男女共同参画課 村上 朋子氏

なぜ「男女共同参画社会」を目指すのか。男女共同参画の重要性と必要性を学びました。山形県における現状と課題についても考えさせられました。



- ・これまで自分が社会の中で受けてきた差別、差別というものを改めて整理し、納得できた。それが「おかしい」ということを声を大にして言って良い事がわかりました。
- ・目指すべき事、現状(国内外、県や市町村)、目標が少し見えてきた気がした。また男女共同参画が進まない理由や法律について学べた。



## ■第2回目（6月28日）

### 「男女共同参画の視点で考えるー男女共同参画統計と情報の基礎知識ー」

独立行政法人国立女性教育会館 渡辺 美穂氏

男女共同参画の現状と課題を統計やグラフで学び、問題意識を持っているいろいろな視点で考える事が大事だと教えていただきました。



- ・男女共同参画というのは、女性だけでなく男性にとっても生きやすい社会を作るという事がわかった。
- ・男女雇用の平等さを考えると、嫌になるので、労働弱者として腹が立つばかりでしたが、男女共同参画を学んで、自分が男性にも女性にも言葉を選んで発言していける人になりたいと思えるようになりました。



## ■第3回目（7月12日）「リーダーのためのコミュニケーション」

山形大学理学部教授 小倉 泰憲氏

コミュニケーションの考え方やスキルをワークショップを通して学びました。



- ・自分シートのワークショップで、皆さんにたくさんほめてもらって嬉しかったです。「ほめる」ことが大事だとあらためて思いました。
- ・人間としての生き方の勉強が出来ました。アサーションで、生きる姿勢の基本にできる事を学びました。(気持ちの良い人間関係を築いていきたい)



## ■第4回目（8月2日）「ジェンダー問題は何か問題か」

(公財) せんだい男女共同参画財団理事 遠藤 恵子氏

ジェンダー問題は人権問題。今後人権意識の確立が大事だという事がわかりました。



- ・問題意識を持た。とかく流される出来事も今後気づきくばりを持つことにより、相手を尊重しかつ自分も大事にできると思う。
- ・自分があたりまえだと思っていたことが、実はジェンダーであるということがわかった。



(庄内会場は、9月13日より開催します。)



ご好評をいただいている「チェリアdeカフェ」。  
毎月第2水曜日のチェリアにオープンです！誰でも気軽に参加できる交流イベントは、月ごとに楽しい企画をラインナップ。託児室やベビーベッドもあるので小さなお子さん連れでも大丈夫ですよ。皆さん誘い合わせて来てみませんか？お待ちしております！

カフェオープン時間 10:00～15:00 (出入り自由。昼食持参可)  
月ごとの企画 10:30～12:00 (※要事前申込。)

### 今年度前半のカフェから～

#### 4月

#### 読み聞かせマラソン

読み聞かせのコツを教  
えてもらいながら、お気  
に入りの絵本で挑戦♪

#### ●参加人数

18名(女性16名/男性0名  
女児0名/男児2名)



#### 5月

#### 「食中毒」についてのお話

村山保健所の講師より、  
特徴や予防ポイント等  
をわかりやすく教えてい  
ただきました。

#### ●参加人数

16名(女性12名/男性2名  
女児1名/男児1名)



#### 6月

#### 男女共同参画週間にちなんで 「家族ってなあに？」

高木館長を囲んで、み  
んなで『家族』について  
考えてみました。

#### ●参加人数

9名(女性8名/男性1名  
女児0名/男児0名)



#### 7月

#### フラダンス講座

ハワイアン音楽にあ  
わせてみんなでフラダ  
ンスを満喫。

#### ●参加人数

13名(女性11名/男性0名  
女児1名/男児1名)



### 後半はこんなことやります～

9/10 消しゴムはんこづくり 10/8 クアオルト 11/12 クリスマスカードづくり  
12/10 フラワーアレンジメント 1/17(土) 第100回記念イベント お楽しみに!

# 輝く女性応援会議



働く女性たちが、より働きやすく、能力を発揮できるように、子育てをしながら、もっと社会で活躍できるように…等々、すべての女性が輝く社会を実現するための一環として、全国各地域で「輝く女性応援会議」が開かれています。7月30日に山形で開催された会議では輝く女性・輝こうとする女性たちを応援する各分野のリーダーたちが事例発表を行いました。

## ●吉村美栄子山形県知事

私自身、働く女性の一人です。若い方達から、女性もトップに立てるということを当たり前のように感じていただいていることをうれしく思います。現在、47都道府県において、女性知事は北海道の高橋知事と私のたった二人。昨年からは男女共同参画プロジェクトチームのリーダーとなり、今年は『女性も男性もともに働き育む社会、女性の活躍ウーマノミクスで女性を変える』という提言をまとめ、全国知事会で了承されました。今後は中央政府だけでなく、社会全体に働きかけたいと思っています。しかしながら、女性が社会進出するためには家庭との両立という課題があり、解決するためにはワーク・ライフ・バランスがカギとなってきます。男女が共に働き、子育ても一緒に楽しみながら家庭を築いていける社会、山形県を築いていかなければなりません。一人ひとりが輝ける社会になるよう応援していきます。

## ●岡田広内閣府副大臣

国は女性の活躍を成長戦略の中核に位置付け、女性を応援するネットワーク作りが大切だと考えています。『女性の活躍で何が変わるのか』と言いますと、結婚を機に6割の女性は仕事を辞めています。実際に働きたいと思っている女性は315万人います。これらの女性の活躍で社会が大きく変わっていく可能性があります。

これからの時代は発想やアイデアが大事になってきます。男性とは違う気づきの中で社会、企業に貢献して欲しいと願っています。

### ◇子育て期（25～44歳）の女性就業率

68%（2012）⇒**69.5%（2013）**⇒73%（2020年目標）

女性就業者数**53万人**増加…2,660万人（2012年12月）⇒2,713万人（2014年1月）

### ◇2017年度末までに待機児童の解消を目指す。

### ◇育児休業給付を休業開始前賃金の50%⇒**67%に引き上げ**（休業開始後6ヶ月まで）

男性育休取得率2%⇒13%を目指す（2020年度まで）

### ◇放課後子ども総合プランで「小1の壁」を打破

放課後児童クラブ…約**30万人分**の受け皿拡大（2019年度まで）

### ◇子育て支援員（仮称）の創設

### ◇安価で安心な家事支援サービスの実現

### ◇女性活躍応援プラン（仮称）…各地域で応援会議の開催や女性登用推進のための仕組みづくり。

### ◇働き方に中立的な税制・社会保障制度等の見直し…配偶者手当等



## 事例発表

### ①山形ガールズ農場（代表 高橋菜穂子氏）

女性に限定した農場を立ち上げてから6年。「女子力」を農業に生かし活動している。スイカを原料にした化粧品の開発や女性ならではの企画も。農業のイメージ改革をテーマにスタートし、現在は次のステップとして女性が働き続けられる職場づくりを目指している。夢は保育園をつくり、子連れ出勤ができるようになること。

### ②NPO法人やまがた育児サークルランド（代表 野口比呂美氏）

核家族が増え、子育てしながら働いている人も多い昨今、子育て世代をサポートする活動を行っている。①育児情報誌の発行、新聞への投稿 ②冠婚葬祭や病気の時等のための一時保育 ③再就職に向けた女性の人材育成（託児付き講習会の開催）。親のやることを単に肩代わりするのではなく、子どもたちが幸せになるよう応援していきたいと考えている。

### ③パレスグランデール（常務 武田靖子氏）

男女関係なく人材育成が経営に直結するため、資質が求められる職場。そのため、企業として一人ひとりが能力を発揮していけるようにしていきたいと考えている。社員の半分以上が女性ということもあり、職場での一人ひとりの背景を理解しながらワーク・ライフ・バランスを考慮。仕事と生活の調和、人と人との信頼関係を大切にしている。

### ④やまがた女将会（会長 佐藤洋詩恵氏）

昔は、女手一つで子どもを育てて働く女性、遠くの家族に仕送りする女性の居場所として旅館で働くことに偏見を持たれた時代もあった。「旅館で働く人たちが誇りに思えるような旅館作りをしたい」という思いで力を尽くす。現在は、24時間体制の旅館業に週休2日制、comeback支援制度を導入し、革新的な取り組みをしている。

### ⑤ままちゃん工房おおくら代表（代表 八畝とも子氏）

大蔵村の女性7人が地域振興を目的に、地元産の食材を使った加工品の企画、製造、販売を一手に担っている。1995～2008年に開催された全日本ラングライフ大会の参加者のため「肘折温泉の新しい特産品を作れないか」と相談を持ちかけられたことが発足のきっかけ。全員本業は別にある。夢を持ち続けることが大事…その共通の思いで活動している。

### ⑥日東ベスト株式会社（代表取締役社長 大沼一彦氏）

全従業員60%が女性ということで、仕事と家庭の両立支援制度、企業内の保育園を整備する等、女性が活躍できる環境作りを注いでいる。特に、平成4年に導入した育児休業・介護休業制度は284人が利用。休業者に対しては会社からの情報提供、職場復帰のプログラムを、さらに10年以内であれば同じ待遇で復帰ができる再雇用制度も。

### ⑦キャド・キャム株式会社（代表取締役 齋藤士郎氏）

男性社会の建設業界にあって全社員の7割が女性。課長職も男性と同人数。育児休業は三歳まで、子どもの看護休暇は中学校卒業まで、マタニティ休暇は妊娠中に10日まで取得できる。配偶者が妊娠中の場合、夫である男性社員も取得可能。「自分たちが苦労したことを後輩にはさせたくない」という社員たちの発想が働きやすい職場をつくった。

チェリアの仲間  
いませんか？

# CHERIA 登録団体紹介！

チェリアでは団体・グループ登録制度を設けています。随時受付中！詳しくはチェリアまで！

## 女性すまいネット@山形(みらいえ～る)

～子どもたちに豊かな未来を引き継ぐために～



女性すまいネット@山形(通称：みらいえ～る)は、山形市近郊に在住、在勤する女性建築士が中心となり、この4月に立ち上げたばかりの任意団体です。メンバーそれぞれがこれまで培ってきた専門性や女性としての視点を活かし、住まいづくり・まちづくりの研究や市民の皆様への啓発活動を行うことを目的としています。

具体的な活動として月に2回の定例会や勉強会、年に2回の市民講座の開催、暮らしに役立つ情報を載せた会報の発行などを行う予定です。それぞれが仕事を持つ中で、時間をやりくりして活動しています。

私たちが目標のひとつに掲げているのは、山形の魅力ある自然や産業を活かした住まいづくりを行うこと。地産地消を進めることで地域の経済活性化が促されれば、子どもたちのためにより良い未来をつなげていくことにもなります。

またおりしも男女共同参画が推進される中で、私たちメンバー1人1人も自分らしく輝き、力を発揮できる場としたいと思っています。メンバーはもちろん、多くの方が生き生きと暮らせる世の中になるよう、住まいづくり・まちづくりの側面からお役に立つような活動をしていきたいと考えています。現在、男女問わず、活動主旨に賛同していただけるメンバーを募集中です。ぜひ一緒に、住まいや暮らしについて考え、よりよい未来へつなげていきませんか。



### 女性すまいネット@山形(みらいえ～る)

- 代表：井上 恵子
- お問い合わせ先：代表 井上 恵子 (いのうえ けいこ)
- TEL：080-3328-3616
- <http://sumai-yamagata.net>

## にこにこ音楽子育て支援の会

～音楽は心の栄養～



私達の人生の中で出産、命の誕生は大きな喜びであると同時に母子ともに劇的な環境変化のもとで、大きなストレスにさらされることもよく知られています。

私達「にこにこ音楽子育て支援の会」は東北の雄大な自然の中で子育てをより豊かなものにするために、子ども達が大好きな歌や音楽を通して子育ての応援をしております。音楽は子どもの情操の発達に重大な影響を与えるとされています。

具体的な事業としては、市町村の保健課や福祉課、各子育て支援センターや幼稚園、保育園等で音楽好きな医療、福祉、行政、教育の各分野の専門家がチームを組んで各地域へ出前の音楽療法、演奏、講演等を実施しております。

内容は母と子が季節の歌や童謡を歌ったり、楽器を叩いたり、音楽に合わせて身体を動かしたり、音楽療法の手法等を用いて子育てのストレスや孤立化を防止できるよう、楽しい時間を過ごしていただいております。

会のメンバーとしては、音楽家、医師、看護師、保育士、教員、臨床心理士、音楽療法士等、人権擁護員、他で構成されております。

皆さんと手をつなぎ合い、子どもと子育てをする方々の未来と幸せのために、子育てのサポーターとして活動を行っていきたく思います。



### にこにこ音楽子育て支援の会

- 代表：二瓶 明美
- お問い合わせ先：代表 二瓶 明美 (にへい あけみ)
- TEL：070-5058-8755
- E-mail：[aoi\\_11292004@yahoo.co.jp](mailto:aoi_11292004@yahoo.co.jp)

## チェリアフェスティバル 山形2014

**テーマ**

いいね!だれもが主役  
ささえあう未来へ

**日時**

2014年  
**10月19日** 日  
10:00~16:00

**主旨**

チェリアフェスティバル山形2014は、男女共同参画社会づくりをめざして活動している団体・グループの活動発表や県民の皆様との交流の場です。様々なワークショップや楽しいフリーマーケットの開催、男女共同参画知事表彰と表彰者による発表会、そして記念講演会など多彩な内容となっております。ご家族でのご来場をお待ちしております。

**講演会**

- ◆ **テーマ** みんな地球家族  
~わかちあう 仕事も家庭も喜びも~
- ◆ **講師** にしゃんた氏
- ◆ **時間** 14:00~15:30
- ◆ **場所** 遊学館ホール(2階)
- ◆ **定員** 300名(要申込・要整理券)
- ◆ **講師プロフィール**



羽衣国際大学現代社会学部准教授  
1969年7月、スリランカ キャンディー市生まれ。高校生だった87年にボーイスカウトで初来日。その翌年に留学のため再来日し、立命館大学に入学。新聞奨学生をしながら大学在学中に全日本空手道連盟公認四段・全国空手道連盟公認指導員を取得したほか、多数の弁論大会に出場し優勝する。大学卒業後、大学院に進み、経済学の博士号を取得。現在は京都に在住し、羽衣国際大学で教鞭をとる傍ら、テレビ・ラジオ出演、講演会や執筆活動などを行っている。2005年日本国籍取得。2008年日本女性と結婚、一男一女の父。

**託児  
あります**

**時間** 午前(10:00~12:00)と  
午後(13:00~15:30)  
**場所** 託児室(2階)  
**年齢** 満1歳~就学前まで(定員15名)  
**要予約** 事前予約で申込締切は10月10日(金)

**編集  
後記**

対談に登場していただいた男性お二人の話はココロに  
沁みました。(昌子)  
山形の未来を考える多くの方々に出逢いさらなる学び  
を刺激されました。(尾藤)

● **タイムスケジュール・企画一覧** ●

時間	内容	団体名
10:00 ~10:15	オープニングアトラクション	
10:00 ~10:15	オープニングダンス	ダンススタジオ プリリアン
10:15 ~12:15	ワークショップ	
10:15 ~12:00	山形シネマクラブ公開映写会	山形シネマクラブ
10:20 ~11:45	「あなた、自立してますか?」	劇団「さんかくしかく」
10:15 ~12:15	セルフイメージをアップして 幸せ体質になるプリンセスセミナー	いきいきWネットワーク <small>※要申込</small>
11:00 ~12:00	影絵で見る昔ばなし	山形県退職女性教職員会・ 出羽路会
10:15 ~12:00	あ〜べの秋まつり in チェリア	NPO法人 やまがた育児サークルランド
10:15 ~11:45	いのちを守る防災意識は、 日ごろの心と目の備えから	NPO法人 サポート唯
10:00 ~16:00	展 示	
10:15 ~16:00	あなたはひとりじゃない ~ハッピーな関係づくり~	エンパワメント山形
10:00 ~15:30	①来館者調査 ②山形県内各市町村の男女共同参画 度チェック	桜桃(チェリア)の会
10:00 ~16:00	山形大学ワークライフバランス実現 への取り組み	山形大学男女共同参画推進室
10:15 ~16:00	みんなであそぼう	NPO法人 やまがた育児サークルランド
10:00 ~16:00	女性の人権	山形人権擁護委員連合会 山形協議会 専門委員会 男女共同参画推進委員会
10:00 ~16:00	あなたも大切 わたしも大切!	CAPやまがた
10:00 ~16:00	広報紙「ぼっぴ」 ~天童市での取り組みを紹介~	天童市男女共同参画社会推進 委員会
10:00 ~16:00	楽しく楽しいいけばなⅦ	フラワーキッズ
10:00 ~16:00	ふれあいコーナー	
10:20 ~12:30	御一服どうぞ	山形市ボルダー友好協会
10:00 ~16:00	あがっしゅい!農家の母ちゃんの味	山形県農村生活研究グループ 協議会
10:00 ~16:00	「まちの保健室」と「看護の仕事」パネ ル展示	公益社団法人山形県看護協会
10:00 ~16:00	共に生きよう!支えあって	認定特定非営利活動法人 発達支援研究センター
10:00 ~16:00	あなたも大切 わたしも大切!	CAPやまがた
10:00 ~15:00	ミニ「ゆめショップ」	女性ゆめネット
10:00 ~16:00	作るって楽しい!!	ガールスカウト山形県連盟
10:00 ~16:00	楽しく楽しいいけばなⅦ	フラワーキッズ
10:15 ~16:00	見直そう!私たちの生活を	生活クラブやまがた生活協同組合
10:00 ~16:00	人生楽しく そして環境にやさしく	国際ソング 山形ソングクラブ
13:00 ~13:50	平成26年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表 彰及び受賞者による活動内容発表	
14:00 ~15:30	講 演 会	
14:00 ~15:30	みんな地球家族 ~わかちあう 仕事も 家庭も 喜びも~	にしゃんた氏

山形県男女共同参画センター チェリア

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 (遊学館2階)  
Tel.023-629-7751 Fax.023-629-7752  
相談専用電話:023-629-8007  
URL <http://www.yamagata-cheria.org/>  
開館時間 午前9時~午後9時  
休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜、年末年始  
平成26年9月発行  
編集発行●(公財)山形県生涯学習文化財団



**【アクセス】**

- **JR山形駅から**  
バス/市役所経由路線バスで  
市役所前下車、徒歩5分  
タクシー/約6分 徒歩/約25分
- **自動車**  
山形自動車道山形蔵王ICから約10分。県営駐車場をご利用ください。  
(入館時に駐車券を遊学館1階の総合案内へお出しく下さい。)  
ご利用時間に応じて駐車料金が割引になります。

チェリアのHPに  
アクセスできます

